

作成者(部門・氏名)		提出日	
長		10/28	
記事キーワード (今回のお題)		キーワードの検索数 (Googleの月間検索数)	
不動産 査定 無料		『210』	※3桁は検索者のニーズが限定的で推測しやすい※4 桁は検索者が多いためニーズがバラバラ
関連キーワード (記事キーワードに紐づく検索ワード 記事キーワードの後ろにスペースを入れて確認)			
Google 不動産 査定 無料 相談 不動産 査定 無料 口コミ 不動産 無料査定 トラブル 不動産 簡易査定 無料		ラッコKW 不動産査定 無料 不動産査定 無料相談 不動産査定 無料 口コミ	
キーワード推測 なぜこのキーワードで検索したか・類似キーワードの検索数・他の言葉では無い理由 何がきっかけで、何が知りたくて、どんな場面で、何を使って検索しているか			
1.なぜこのキーワードで検索したのか？ 不動産の無料査定をしてほしいから 【類似KW】 不動産 無料査定:7位で初めて記事系コンテンツ。それ以前は全て査定サイト →査定が無料でできることを当然としているユーザー？ 不動産査定 無料相談:問い合わせ窓口のサイト 不動産査定 無料 口コミ:やってみた感想や口コミ ※いずれも、上位サイトに重複なし 【他の言葉ではない理由】 相談したい、口コミをチェックしたいというよりは、実際にすぐ査定したいという、直接的なニーズ 一方で、そもそも「無料でできるの？」という疑問もある 2.検索したきっかけや、どんな場面で、何を使って検索したのか？ 不動産売却をしたいが、知識がまったくない。なるべく査定にお金はかけたくないが、「無料で査定ってできるの？それって大丈夫なの？」という不安がある。こういった疑問や不安を解消し、無料で査定が依頼できればいいと考え、自宅のノートパソコンで「不動産 査定 無料」と検索。			
コンテンツリサーチ(検索ワードで検索した際の上位コンテンツ 必ず良いコンテンツとは限らない)			
サイト名		URL	
1位 https://www.homes.co.jp/satei/kani/ 【タイトル】 匿名査定依頼の流れ - ホームズ 【見出し】 「匿名査定」4つのポイント 一括査定サービスとどう違うの？ 匿名査定って何？ 査定の後、必ず売却を依頼しないとイケない？		【なぜ1位なのか】 既存の一括査定では不可能な「匿名で申し込んで、気になった所に自分から連絡」という点にニーズがある？ ・「無料で査定」と言いつつ、営業されるのではという不安が、ユーザーにある 【気付いたことメモ】 記事の内容で上回るのは厳しい？	

【記事の方向性】 個人情報を入力しなくてOKの不動産査定のLP 【ユーザー層】 不動産売却を考えているが、業者から営業を受けるのが嫌な人(そこまで具体的じゃない)	
2位https://sumai-step.com/column/article/2042/ 【タイトル】 不動産査定は無料で出来る！有料との違いや依頼方法を解説！ 【見出し】 1 不動産の「無料査定」と「有料査定」の違い 2 無料の不動産査定で用いる3つの査定額算出方法 3 無料査定を依頼する際の4つの注意点 4 無料で不動産査定を行うオススメの方法 5 無料査定に関するよくある質問 【記事の方向性】 有料との違いを明確に、トラブル等のリスクを防ぐ方法も紹介 【ユーザー層】 不動産の売却を検討している人	【なぜ1位ではないのか】 ※記事系コンテンツでは実質1位 不動産売却の知識がない人でもわかりやすい導入 【気付いたことメモ】 ・無料であることへの「不安」にフォーカスしている ・「おすすめの査定方法」として自社サービスへ誘導、という流れなので、複数の業者から選べるようにすると差別化できる？
3位https://sumitas.jp/sell/quick/ 【タイトル】 簡単10秒！匿名で不動産査定 【見出し】 いますぐ価格相場を知りたい方 居住物件 収益物件(事業用物件) 【記事の方向性】 不動産査定サイトの無料査定ページ 【ユーザー層】 無料で手軽に査定をしたい人	【なぜ1位ではないのか】 — 【気付いたことメモ】 ・「無料で査定出来る場所」のひとつとして紹介するのはあり
4位https://www.home4u.jp/sell/ 【タイトル】 マンション・家・土地などの不動産一括査定なら 【見出し】 ケース別にみる不動産売却の注意点 物件の種類ごとに高く売るコツを徹底解説 不動産売却について最新の情報を配信中！ 【記事の方向性】 不動産査定サイトの無料査定ページ(不動産会社を選択できる) 【ユーザー層】 無料で手軽に査定をしたい人	【なぜ1位ではないのか】 — 【気付いたことメモ】 ・「無料で査定出来る場所」のひとつとして紹介するのはあり
5位 https://www.home4u.jp/sell/juku/course/sell-53-12046 【タイトル】 家の無料査定はどこに頼む？注意点と成功させるための攻略ポイント 【見出し】	【なぜ1位ではないのか】 内容は主張も明確でわかりやすいが、テキスト主体でやや読みにくい。 【気付いたことメモ】 ・書き出し説得力あり(無料だから気軽に受けるのではなく、無料だからこそ慎重に比較検討する) ・失敗しないためのポイントが具体的

1. 家を高く売りたい！安心・安全な無料査定はどれ？ 1-1. 家の査定が無料で受けられる理由は？ 1-2. 無料査定で「まとめて依頼する」のが正解！ 1-3. 無料査定を利用する時の注意点 2. 無料一括査定サービス「HOME4U」の使い方と売却までの流れ 2-1. 基本情報を入力すると売却に適した不動産会社がピックアップされる 2-2. 机上査定か訪問査定か選択する 2-3. 査定結果を比較する 2-4. 不動産会社を選んで媒介契約を結ぶ 3. 無料で家の査定を受けるときの3つの攻略ポイント 3-1. 【ポイント1】必要書類を準備しよう 3-2. 【ポイント2】プラス面もマイナス面も伝えよう 3-3. 【ポイント3】不動産会社を比較してメモしよう 【記事の方向性】 不動産査定の仕組みや注意点、査定で失敗しないための攻略ポイント 【ユーザー層】 不動産売却を考えていて、無料で査定してみたい人	
6位https://www.stepon.co.jp/uri/satei/ 【記事の方向性】 不動産査定サイトの無料査定ページ 【ユーザー層】 無料で手軽に査定をしたい人	
7位https://www.athome.co.jp/assess/ 【記事の方向性】 不動産査定サイトの無料査定ページ 【ユーザー層】 無料で手軽に査定をしたい人	
8位https://www.housedo.com/app/ 【記事の方向性】 不動産無料査定アプリの紹介ページ 【ユーザー層】 スマホで手軽に不動産の無料査定をしたい人	
9位https://suumo.jp/baikyaku/ 【記事の方向性】 不動産査定サイトの無料査定ページ 【ユーザー層】 無料で手軽に査定をしたい人	
10位https://www.nomu.com/seller/faq/003.html 【記事の方向性】 不動産サイトのQAページ 【ユーザー層】 無料で査定ができるか知りたい人	
【上位サイトのターゲットの傾向】 →主要なターゲットは？ 不動産売却を考えていて、無料で査定してみたい人	

【上位サイトに含まれる内容】

- ・有料査定との違い(なぜ無料でやってくれるのか)
- ・査定額の算出方法
- ・トラブルにならないための注意点(失敗しないためのポイント)
- ・依頼方法(やり方)

【上位サイト以上の価値を生むためには】

- ・基礎知識や注意点は網羅した上で、**複数の無料査定サイトを比較し、ユーザーが自分に合ったものを選ぶと良い**

知恵袋で明らかになったニーズ (Yahoo知恵袋で確認しましょう)

- ・なぜサイトで無料査定ができるの？どういう仕組み？
- ・ネットで無料で査定した後、電話で営業などされないか不安
- ・査定した後、契約を断れないのではと不安
- ・本当に無料でできる？
- ・個人情報渡すのが心配

【このニーズを記事にどう反映させるか】

→営業されない、**完全無料で査定してもらえる業者を選定し、紹介する**

→**個人情報を入力して申し込む前に、不安なことは問い合わせるのもひとつの方法**

ユーザーにとって最高の結果とは？(潜在ニーズを含めて何を知っていると良いか。端的に。)

※実現可能かどうかは考慮せず、ユーザーの願望を書く

査定から売却まで任せられる、信用のおける不動産会社を見つけ、依頼する

→実現可能？

無料査定を安心して任せられても、査定額に納得できるかはわからない→契約までに至るかは不明なので、「安心して任せられる不動産会社に無料査定を依頼する」がゴール

ユーザーニーズ (検索者の一人を想像し、ニーズを具体化していく。記事はこの人への手紙ではない)

【ペルソナ】

性別:男性

年齢:50代

地域:都内近郊

未婚:既婚

年収:500万円

【状況】

両親から相続した実家を売却したい(自らはマイホーム購入済み)。何から手を付けていいかわからず、とりあえずいくつかの不動産業者に査定を依頼したいが、しつこい電話営業や、いたずらに個人情報を渡すのが心配で、無料のネット査定に少し不安がある。が、できれば査定の段階でお金はかけたくない。ひとまず無料で査定するにはどうしたらいいか調べるため、自宅のノートパソコンで「不動産 査定 無料」と検索。

【顕在ニーズ】

※顕在ニーズが1つのパターンと複数になるパターンがある

- ・不動産査定を無料でできるか知りたい
- ・できるのであれば、依頼したい
- ・無料査定がどんな仕組みなのか知りたい

【目的】(記事で達成したい最低ライン)

依頼する無料査定業者を決める

【願望】

しつこい営業など、業者選びで「失敗」したくない

【潜在ニーズ】(願望から求める)

金銭的にも精神的にも損することなく、不動産を売却したい

【最高の結果】(考えられるベスト)

査定から売却まで任せられる、信用のおける不動産会社を見つけ、依頼する

【コンテンツのゴール】(作れるベスト)

無料査定を安心して任せられても、査定額に納得できるかはわからない→契約までに至るかは不明なので、「安心して任せられる不動産会社に無料査定を依頼する」がゴール

このコンテンツのゴールイメージ

(読み終えたときに、どうなっていることを目指す記事か。端的に。)

※実現可能で、なおかつ最高の結果に最も近いものを書く

無料査定における不安や疑問をすべて解消し、安心して任せられる不動産会社に無料査定を依頼する

記事タイトル

(記事を分かりやすく表現する:記事ワードは必ず入れる)

不動産売却の査定は無料でできる！安全に利用するための基礎知識

目次(自分がお客さんから聞かれた際に話す手順をベースに丁寧に説明 PowerPointで説明するイメージ)

【ユーザーが知りたい順番に並べ替え、おおまかなストーリーをつくる】

・不動産売却の査定は無料でできる

無料査定の仕組み(なぜ無料なのか)

本契約との営業も兼ねているから

有料査定との違い

・無料査定にはどんなものがあるのか

机上査定

訪問査定

・トラブルにならないための注意点

個人情報の取扱いをチェックする

会社の選定をしっかり行っているかチェック

過去の実績をチェック

・おすすめサイト(業者)

※複数の無料査定サイトを比較し、ユーザーが自分に合ったものを選べると良い

【目次】

1.不動産売却の査定は無料でできる

1-1.無料査定の仕組み

なぜ無料なのか?→本契約との営業も兼ねているから

1-2.有料査定との違い

<https://sumai-step.com/column/article/2042/>

不動産会社に依頼する場合は基本的に無料

不動産鑑定士に依頼する場合は有料

2.無料査定にはどんなものがあるのか

2-1.机上査定

現地調査なしで査定してもらえる

短時間でおおまかな査定額が知りたい場合に最適

※現在執筆中の記事「机上査定」の内部リンク挿入

2-2.訪問査定

専門家が物件を訪問して査定

多少時間や手間がかかっても、できるだけ正確な査定額が知りたい場合に最適

3.トラブルにならないための注意点

注意点をしておかないと査定額よりも大幅に安い価格で売却することになってしまった
スムーズに行かないなどのトラブルにつながることも

3-1.事前に必要な書類を用意しておく

<https://www.home4u.jp/sell/juku/course/sell-53-12046>

「必要書類の確認」

<https://sumai-value.jp/magazine/sell/147/>

3-2.マイナス面もきちんと報告する

過去の水漏れなどの瑕疵(かし)も必ず報告することで、査定額と実際の売値のギャップをなくす

<https://sumai-value.jp/magazine/sell/147/>

4.失敗しない無料査定サイトの選び方

悪徳業者に査定を依頼してしまうと、しつこい電話営業や個人情報悪用といったリスクも
そういった危険を避けるための、失敗しないためのポイント

※一括じゃなくても利用できますよ～

4-1.個人情報の取扱をチェックする

4-2.会社の選定をしっかり行っているかチェック

4-3.過去の実績をチェック

5.無料で利用できるおすすめの一括査定サイト一覧

※さっとやる個別サイト(複数)と、ガチでやる一括と(1こでいい)

複数の無料査定サイトを比較し、ユーザーが自分に合ったものを選ぶよう一覧表で表示

- ・サイト名
- ・運営会社
- ・個人情報入力の有無
- ・机上・訪問対応
- ・提携している不動産会社の数
- ・その他特長

※ゼロリノベ様が過去紹介しているサイトも選定の参考にする

<https://www.zerorenovation.com/blog/condominium-sales-enclosure/>

6.まとめ

おすすめの無料不動産査定サイト5選！安全に 利用するための基礎知識

<ディスクリプション>

不動産売却の査定が無料でできるおすすめ5サイトを紹介。無料査定の仕組みやトラブルにならないための注意点も併せて解説し、しつこい電話営業などのリスクを防いで安全に査定ができます。



売りたい不動産が「大体どのくらいの価格で売れそうなのか」という目安を知るために行う査定。

不動産会社に査定を依頼する際、最も簡単なのは、無料の査定サイトを利用するという方法です。

しかし、無料で手軽に利用できる分、査定サイトに「個人情報悪用されないか」「しつこい営業電話がかかってきたらどうしよう」といった不安がある人も多いはず。

安心して無料査定サイトを利用するためには、不動産査定に関する基本的な知識を身につけておくことが重要です。

そこで本記事では、

- 不動産会社の査定が無料で出来る仕組み
- 無料査定の種類
- 不動産会社とトラブルにならないための注意点
- 失敗しない無料査定サイトの選び方

を解説。

さらに、安全に利用できる、5つのおすすめ無料査定サイトも公開。

サイト名	運営会社	サイトのタイプ	サービス開始年	特徴
住友不動産販売 無料査定	住友不動産販売 株式会社	個別サイト	1975年	・顧客満足度94.1%、年間取り式件数3.5万件と信頼の実績 ・全国256店舗の地域密着ネットワークで、精度の高い査定額を実現
東急リバブル	東急リバブル 株式会社	個別サイト	1972年	・机上査定、訪問査定以外にも、スマホで簡単に申し込める「スピードAI査定」など、サービスが充実 ・査定前にチャットで気軽に相談できる
ホームズ 匿名査定	株式会社LIFULL	匿名査定サイト	2014年	・30分～48時間で最大13社の査定結果がわかる ・サービス利用者が736万人を突破
SUMiTAS 簡単10秒査定	スミタス 株式会社	匿名査定サイト	2021年	・全国の売却査定ビッグデータから価格相場を自動でスピード算出 ・入力するのは所在地、面積、築年数、方位、階数の5項目のみで簡単
SUUMO 売却査定	株式会社 リクルート	一括査定サイト	2009年	・多くの不動産会社を一括で査定できる（最大10社） ・独自の審査基準を通過した企業のみを掲載

今すぐに無料査定サイトを利用したい場合は、上の表を参考に、詳しくは記事終盤の[「無料で利用できるおすすめの一括査定サイト一覧」](#)をご覧ください。

1.不動産売却の査定は無料でできる

不動産売却の査定は、一部有料のものもありますが、基本的には無料でしてもらえます。

「無料でやってもらえるなんて、怪しいのでは？」と思うかもしれませんが、無料査定の仕組みを知っておけば、不安な気持ちもなくなるはず。

ここでは、なぜ不動産売却の査定が無料でできるのか、その仕組みと有料査定との違いについて解説します。

1-1.無料査定の仕組み

不動産会社の仕事は、「売主」であるあなたと、あなたの不動産を買いたい「買主」を繋ぐこと。

売主と媒介契約をして、担当した不動産を買主に売り、仲介手数料をもらうことで不動産会社は利益を得ます。

不動産のおおよその売値を算出する査定は、売主と契約を結ぶための入り口のようなもの。

将来のお客さんを獲得するために、まずは気軽に申し込んでもらえるよう、無料で査定を行っているという仕組みです。

無料査定の仕組み



無料査定でお客様（売り主）
を集める



媒介契約を結ぶ



不動産が売れる



仲介手数料で不動産会社は
利益を獲得できる

1-2. 有料査定との違い

不動産売却の査定は、不動産会社に依頼する場合は無料で行えます。

ではどんな場合に有料になるかというと、「不動産鑑定士」に査定を依頼したときです。

不動産鑑定士による有料査定は、専門家が作成した公的な書類「不動産鑑定評価書」をもらうことができるため、遺産相続や会社間で不動産を取引する際に活用されます。

個人で不動産を売却したいだけの場合、不動産鑑定評価書が必要になるシーンは特にないため、不動産会社の無料査定で十分と言えるでしょう。

2. 無料査定にはどんなものがあるのか

無料査定は、今やインターネットで査定サイトにアクセスするだけで簡単にできます。

査定の方法は、大きく分けて以下の2種類。

- ①机上査定
- ②訪問査定

それぞれどんなものなのか、具体的に解説していきます。

2-1. 机上査定

机上査定とは、現地調査を行わずに、不動産のデータのみを元に行う査定方法。

最初から訪問査定を行うとスケジュール調整に時間がかかってしまうことがあります。机上査定で複数社から大まかな査定額を出してもらい、訪問査定に進む会社を絞り込む、という方法が最も効率的です。

机上査定

不動産の現地調査を行わず、データを元に
おおよその査定価格を算出する方法



【必要なもの】
物件の具体的な情報
・物件のタイプ
・所在地
・専有面積
・間取り
・築年数 など

通常の査定よりも簡単に行えるので、「簡易査定」とも呼ばれています。

築年数・所在地・間取りといった基本情報をサイトに入力するだけで査定開始となり、面倒な書類の提出などは必要ありません。

早ければ30分～1時間程度で査定結果が出るため、短時間でおおまかな査定額が知りたい場合に最適です。

より詳しくは、[机上査定について書かれたこちらの記事](#)をご確認ください。

2-2. 訪問査定

訪問査定とは、査定員が実際に物件を訪問し、調査で得た情報を元に査定を行う方法です。

机上査定よりも提供する情報が多い分、査定額の精度は高いですが、スケジュール調整に1～2週間かかります。訪問査定の所要時間は1～2時間程度です。

多少時間や手間がかかっても、できるだけ正確な査定額が知りたい場合に最適な査定方法です。

3. 精度の高い査定額を出してもらうためのポイント

査定とは、売りたい不動産がどのくらいの値段がつくのか、おおよその目安を知るために行うもの。

そのため、実際の売値と大幅に違う査定額が出てしまう恐れがありますが、ポイントを押さえれば査定額の精度を高めることはできます。

査定額の精度を高めるポイントは、以下の二つ。

- ①事前に必要な書類を用意しておく
- ②マイナス面もきちんと報告する

具体的に何をすればいいのか、これから説明していきます。

3-1.事前に必要な書類を用意しておく

机上査定の場合は提出が必要な書類は特にありませんが、間取りや面積・築年数といった入力する情報に誤りがあると、査定額に影響が出てきます。

不動産を購入した際の契約書など、正確な情報が載っている資料を、あらかじめ用意しておくといいでしょう。

訪問査定の場合、提出が必須ではなくても用意しておくことで精度がアップする書類もあります。

【必須ではないが査定の精度がアップしやすい書類】

- 登記簿謄本
- 公図
- 測量図
- 建築確認済証
- 建築設計図書
- 管理費・修繕積立金に関する書類(マンションの場合)
- 固定資産税納税通知書
- リフォームの契約書(過去にリフォームをした場合)

上記の例を参考に、どんな書類を用意しておいたら良いか、事前に不動産会社へ問い合わせてみてもらいましょう。

3-2.マイナス面もきちんと報告する

過去の水漏れなど、不動産を売却する際にマイナスとなる欠点のことを、瑕疵(かし)と呼びます。

机上査定の場合、こういった瑕疵を査定額に反映することは難しく、訪問査定の場合も査定員が現地調査の際に気づかない可能性があります。

いざ売値を決める段階でこういった瑕疵が見つかったら、査定額が大幅に下がってしまう恐れがあるため、査定時に報告しておくといいでしょう。

4.無料査定サイトの種類

インターネット上で簡単に不動産の査定ができる、無料査定サイト。

一口に「無料査定サイト」と言っても、さまざまなタイプのものがあり、代表的なものは以下の3つです。

- ①不動産会社が個別で運営している査定サイト
- ②一括査定サイト

③匿名査定サイト

どの査定サイトを使うのがベストかは、利用する人の好みや状況によって異なります。

それぞれどんな特徴があるのか、具体的に解説していきます。

4-1.不動産会社が個別で運営している査定サイト

不動産会社の公式サイトにアクセスし、無料査定のページから査定を申し込むという、最もシンプルな方法です。

一社ずつやり取りすることになるので、たくさんの不動産会社に査定を依頼したい場合は手間がかかりますが、信用できる不動産会社を慎重に厳選したい人におすすめ。

4-2.一括査定サイト

多くの不動産会社と提携して運営されているサイトです。

売りたい不動産の所在地を入力すると、近隣の不動産会社の候補が表示され、その中から複数の会社を選んで一気に査定してもらえます。

効率良くたくさんの不動産会社に査定を依頼したい人におすすめです。

4-3.匿名査定サイト

一括査定サイトと同じく、複数の不動産会社へ査定を依頼できるサイトです。

入力した情報のうち、不動産会社へ送られるのは物件の情報のみで、メールアドレスなどの連絡先はサイトが管理。

そのため、不動産会社からのしつこい営業や勧誘リスクを最小限に抑えることができます。

通常の 一括査定サイト



査定を依頼したら連絡先は
不動産会社の元へ

匿名査定サイト



査定を依頼したら連絡先は
サイトの運営会社へ
(不動産会社には物件の
情報のみ送られる)

「一括サイトを利用したいが、個人情報不動産会社に渡るのが不安」という人にぴったりのサイトです。

5.失敗しない無料査定サイトの選び方

悪質な不動産会社に査定を依頼してしまうと、契約させようとしてこい電話営業をかけられたり、個人情報を悪用されるといったリスクがあります。

そういった危険を避けるために、押さえておきたいポイントは、全部で3つ。

- ①個人情報の取り扱いをチェック
- ②会社の選定をしっかり行なっているかチェック(一括査定サイトの場合)
- ③過去の実績をチェック

具体的にどんなところを見ればいいのか、詳しく確認していきましょう。

5-1.個人情報の取り扱いをチェックする

インターネット上には多くの無料査定サイトがあり、なかには個人情報保護に対する意識が低いものも少なくはありません。

不動産の査定時には、電話番号やメールアドレス・物件の所在地など、多くの個人情報を入力します。

こういった情報が流出してしまう危険を防ぐためにも、利用するサイトが個人情報保護に力を入れているかどうかを、しっかりとチェックしましょう。

最も簡単なチェック方法は、サイト内の「個人情報の取り扱いに関する方針」といったページが存在するか確認すること。

個人情報の取り扱いに関する記載がないサイトの場合、利用は避けた方が無難です。

また、運営会社が「プライバシーマーク」を取得しているかどうか、基準の一つになります。

個人情報取り扱いチェック法

①個人情報の取扱いに関する記載がサイト内にあるか



最低限のプライバシー保護の意識があるかどうか判断できる

②プライバシーマークを取得しているか



個人情報保護の取扱いが適切だと協会から評価されている
→安心して利用できる

5-2.会社の選定をしっかりと行っているかをチェック

複数の不動産会社の査定額を一気に調べられる「一括査定サイト」の場合、悪徳業者がサイト内に登録されていないかをきちんと確認する必要があります。

利用しようと思っているサイトが、どんな基準で不動産会社を選んでいるかをチェックしましょう。

具体的なチェック方法としては、サイト内に「不動産会社の選定に、一定の審査を設けている」といった記載があるかどうかを見ます。

どうしても心配な場合は、どんな基準で会社を選定しているのか、サイトの運営会社に直接問い合わせてみるのもいいでしょう。

5-3.過去の実績をチェック

そのサイトが、これまでどんなふう運営されてきて、利用者からどんな評価を受けてきているかを確認します。

- サイトの運用歴が長い
- 利用者数が多い
- 利用者満足度が高い

こういった情報がサイト内に明記されている場合、安心して利用できるサイトである可能性が高いです。

開設されて間もないサイトや利用者が少ないサイトの場合でも、良質なものはありますが、よりリスクが少ない方を選ぶのであれば実績をしっかりと積んでいるサイトを選ぶのが安全です。

6.無料で利用できるおすすめの一括査定サイト一覧

無料査定サイトに関する知識を一通り得たところで、実際にどんなサイトがあるのか見ていきましょう。

ここでは、おすすめの無料査定サイトを5つ、ピックアップしました。

サイト名	運営会社	サイトのタイプ	サービス開始年	特徴
住友不動産販売 無料査定	住友不動産販売 株式会社	個別サイト	1975年	・顧客満足度94.1%、年間取り式件数3.5万件と信頼の実績 ・全国256店舗の地域密着ネットワークで、精度の高い査定額を実現
東急リバブル	東急リバブル 株式会社	個別サイト	1972年	・机上査定、訪問査定以外にも、スマホで簡単に申し込める「スピードAI査定」など、サービスが充実 ・査定前にチャットで気軽に相談できる
ホームズ 匿名査定	株式会社LIFULL	匿名査定サイト	2014年	・30分～48時間で最大13社の査定結果がわかる ・サービス利用者が736万人を突破
SUMiTAS 簡単10秒査定	スミタス 株式会社	匿名査定サイト	2021年	・全国の売却査定ビッグデータから価格相場を自動でスピード算出 ・入力するのは所在地、面積、築年数、方位、階数の5項目のみで簡単
SUUMO 売却査定	株式会社 リクルート	一括査定サイト	2009年	・多くの不動産会社を一括で査定できる（最大10社） ・独自の審査基準を通過した企業のみを掲載

それぞれのサイトのタイプや特徴について紹介していくので、情報を比較しながら、自分の希望によりマッチしたものを選んでみてくださいね。

6-1.住友不動産販売 無料査定

運営会社:住友不動産販売株式会社

サイトのタイプ:個別サイト

サービス開始年:1975年

老舗不動産会社、住友不動産販売が展開する、無料査定サービス。

全国256箇所に店舗を構え、年間取引件数はおよそ3.5万件。

顧客満足度は94.1%と非常に高く、「信頼性の高い不動産会社に査定を依頼したい！」という方におすすめです。

[「住友不動産販売 無料査定」公式サイトはこちら](#)

6-2.東急リバブル

運営会社:東急リバブル株式会社
サイトのタイプ:個別サイト
サービス開始年:1972年

不動産売買事業を長年手掛け、実績と経験を積み重ねてきた東急リバブルの無料査定。

手軽な机上査定・精度の高い訪問査定の他にも、スマホで簡単に結果がわかる「スピードAI査定」など、査定方法が豊富です。

査定を申し込む前にはチャットでの相談もできるため、「まずはどんなサービスなのか、相談だけしてみたい」という方に最適。

[「東急リバブル」公式サイトはこちら](#)

6-3.ホームズ 匿名査定

運営会社:株式会社LIFUL
サイトのタイプ:匿名査定サイト
サービス開始年:2014年

利用者が736万人を突破した、巨大不動産サイト「ホームズ」が運営する匿名の無料査定サービス。

最短30分、長くても48時間程度で最大13社からの査定結果がわかります。

営業電話や個人情報の流出が心配な場合は、こちらがおすすめです。

[「ホームズ 匿名査定」公式サイトはこちら](#)

6-4.SUMiTAS 簡単10秒査定

運営会社:スミタス株式会社
サイトのタイプ:匿名査定サイト
サービス開始年:2021年

2021年にサービスを開始した、まだ新しい匿名査定サイト。

匿名性はもちろんのこと、査定結果が出るまで10秒という速さが魅力。

物件の所在地・面積・築年数・方位・階数を入力するだけで、全国の売却査定ビッグデータから、価格相場を自動でスピード算出してくれます。

「とにかく手っ取り早く査定額が知りたい」という方にぴったりのサービスです。

[「SUMiTAS 簡単10秒査定」公式サイトはこちら](#)

6-5.SUUMO 売却査定

運営会社:株式会社リクルート
サイトのタイプ:一括査定サイト
サービス開始年:2009年

一度に最大10社まで、不動産会社に査定を依頼できる一括査定サイト。

独自の審査基準を通過した企業のみを掲載し、不動産会社とサービス利用者間のトラブルを、最小限に抑えます。

一気にまとめて査定をして、そのなかから契約する候補を選びたい場合に最適。

[「SUUMO 売却査定」公式サイトはこちら](#)

7.まとめ

最後は、これまでお話ししてきた記事の内容のおさらいです。

【不動産の無料査定に関する基礎知識】

◆不動産売却の査定は無料でできる

- 不動産会社は、将来契約するお客さんを集めるため無料で査定を行っている
- 不動産鑑定士に査定を依頼する場合は有料になるが、個人で売却する不動産の査定額を知りたいだけの場合は、無料のものでOK

◆無料査定の種類

机上査定:必要情報を入力するだけの、短時間で行える簡単な査定

訪問査定:査定員が現地調査を行う、精度の高い査定

→どちらも無料で行える

【精度の高い査定額を出してもらうためのポイント】

◆事前に書類を用意しておく

◆マイナス面もきちんと報告する

【無料査定サイトの種類】

不動産会社が個別で運営している査定サイト:不動産会社と一見ずつ直接やり取りをする

一括査定サイト:複数の不動産会社一気に査定が依頼できる

匿名査定サイト:個人情報不動産会社に渡さず利用できる

【失敗しない無料査定サイトの選び方】

◆個人情報の取り扱いをチェック

- サイト内に個人情報保護に関する記載があるか

- プライバシーマークは取得しているか

◆会社の選定をしっかりと行なっているかチェック(一括査定サイトの場合)

- 不動産会社の選定にあたり審査を行っているか
- 心配な場合は、どんな基準で選定しているか問い合わせを

◆過去の実績をチェック

- サイトの運用歴が長いか
- 利用者が多いか
- 利用者満足度は高いか

本記事を読んで、不動産の無料査定サイトに関する不安や疑問が、解消されていれば幸いです。